国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和８年 11 月 12 日
港湾局技術企画課
国土技術政策総合研究所

港湾工事における試行工事の見直しやグリーン鉄の活用等を議論

～「第 12 回港湾工事における二酸化炭素排出量削減に向けた検討 WG」の開催～

国土交通省では、港湾におけるカーボンニュートラルの実現に向け、「港湾工事における二酸化炭素排出量削減に向けた検討 WG」をこれまで計 11 回開催し、設計・発注・施工の各段階における二酸化炭素排出量の算定方法や、港湾工事における二酸化炭素排出量削減目標、その実現に向けたロードマップ等について検討を進めてきました。本年３月には、これらの検討結果を踏まえ、ロードマップを策定したところです。

今般、第 12 回 WG を 11 月 19 日に開催し、港湾工事における二酸化炭素排出量削減に関する試行工事の検証及び見直しや、製造時の CO_2 排出量を削減した鋼材であるグリーン鉄の活用等、これらを踏まえたロードマップの見直しについて議論します。

記

1. 日　　時：令和８年 11 月 19 日(木)　10:00～12:00
2. 場　　所：港湾空港総合技術センター会議室（オンライン併用）
   （東京都千代田区霞が関３－３－１尚友会館２階）
3. 議 事 内 容：①第 11 回検討 WG における主なご意見と回答・対応方針及び令和８年度の実施内容について
   ②二酸化炭素排出量削減関係の試行工事の検証と見直しについて
   ③港湾工事におけるグリーン鉄の活用について
   ④港湾工事における二酸化炭素排出量削減目標及び実現に向けたロードマップの見直しについて
4. 構成メンバー：別紙のとおり
5. そ　の　他：

■　本検討 WG は非公開ですが、冒頭のみカメラ撮りは可能です。撮影を希望される報道関係者は 11 月 18 日(水)12 時までに、以下のメールアドレスに、氏名(ふりがな)、所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)をご連絡下さい。当日は、9:45 までに開催場所までお集まりください。
送付先：hqt-gikika-touroku★gxb.mlit.go.jp
※「★」を「@」（半角）に置き換えて下さい。
※ 取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

■　議事概要・会議資料は、後日、国土交通省ホームページにて公開する予定です。
https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk5_000046.html

【問い合わせ先】
港湾局 技術企画課　種村、岡田
TEL：03-5253-8111(内線:46502、46634)/03-5253-8676(直通)
国土技術政策総合研究所
港湾情報化支援センター 港湾業務情報化研究室　辰巳、大倉
TEL:046-844-5030(直通)

別　紙

港湾工事における二酸化炭素排出量削減に向けた検討 WG
構成メンバー(順不同・敬称略)

＜学識経験者＞

○	岩波　光保	東京科学大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系　教授
	渡部　富博	京都大学 経営管理大学院　特命教授
	栗島　英明	芝浦工業大学 建築学部 建築学科　教授

＜関係団体＞

高橋　研也	(一社)日本埋立浚渫協会　カーボンニュートラル部会員
西尾　保之	日本港湾空港建設協会連合会　専務理事
加藤　訓生	(一社)日本海上起重技術協会　審議役
三代　利郎	全国浚渫業協会　業務運営委員会　委員長
藤井　敦	(一社)日本潜水協会　専務理事
鈴木　武	(一社)港湾空港技術コンサルタンツ協会 港湾計画専門委員会　専門委員長
藤田　勇	(一社)日本作業船協会　専務理事
小池　慎一郎	(一社)日本海洋土木技術協会　専務理事

＜行政・研究所＞

酒井　敦史	国土交通省 港湾局 技術企画課長
仙﨑　達治	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター長
川端　雄一郎	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造新技術研究グループ長

※　○：WG 座長